

ラテンアメリカの一次産品輸出産業 資料集

星野 妙子 編

2006年3月

独立行政法人 日本貿易振興機構
アジア経済研究所

はじめに

本調査研究報告書は平成 17 年度に発足した「ラテンアメリカ新一次産品輸出経済論」研究会の初年度の成果の一部である。

1980 年代以降のラテンアメリカ経済の重要な変化に、一次産品輸出経済への「回帰」がある。19 世紀後半に欧米先進工業国の原料供給基地として資本主義体制に組み込まれたラテンアメリカは、一次産品輸出経済を基本的な特徴としてきた。第二次大戦以降に進展した輸入代替工業化によって、その特徴は薄れつつあるかに見えた。しかし 80 年代以降は輸入代替工業化期に成立・発展した多くの産業や企業が国際競争力をもたずに淘汰される一方で、一次産品部門では、旧来型輸出産業が存続するのみならず新たな輸出産業の興隆がみられる。このような変化の背景には、開発戦略の転換および経済グローバル化の進展という内外の動きが存在する。一次産品輸出産業がどの程度の持続的成長の可能性を持つのか。また、一次産品輸出産業はラテンアメリカの経済発展の核となり得るのか。さらに、一次産品輸出に支えられた経済はいかなる成長の限界、問題点を持つのか。本研究会は以上のような問題意識のもとに、ラテンアメリカの一次産品輸出経済への「回帰」の意義を明らかにすることをねらいとしている。

本書はラテンアメリカ 6 か国の代表的な輸出一次産品、あるいは新しい変化を象徴する輸出一次産品について、世界ならびに日本の貿易動向とラテンアメリカの輸出国の生産動向を統計資料にもとづき整理、概説した資料集であり、当該産品の貿易と生産について最新の情報を広く社会に提供することを目的としている。本書作成において得られた新たな知見を踏まえて、2 年度目の研究を進めたいと考えている。

2006 年 2 月 編者

目次

はじめに		p. i
第1章 豚肉産業	星野妙子	p. 1
- 日本とメキシコの比較 -		
第2章 大豆産業	小池洋一	p. 47
- ブラジル、アルゼンチンを中心に -		
第3章 生鮮農産物の輸出	清水達也	p. 93
- ペルーのアスパラガス -		
第4章 エクアドルのバナナ産業と対日貿易	新木秀和	p. 117
第5章 林産業	北野浩一	p. 143
- チリと日本の紙・パルプ産業を中心に -		
第6章 ベネズエラの石油産業	坂口安紀	p. 171

執筆者一覧（執筆章順番）

ほしのたえこ 星野妙子	アジア経済研究所	地域研究センター次長
こいけよういち 小池洋一	拓殖大学	国際開発学部教授
しみずたつや 清水達也	アジア経済研究所	地域研究センター副主任研究員
あらきひでかず 新木秀和	神奈川大学	外国語学部助教授
きたのこういち 北野浩一	アジア経済研究所	地域研究センター副主任研究員
さかぐちあき 坂口安紀	アジア経済研究所	地域研究センター副主任研究員